

平成30年度

第5回市政モニターアンケート

「消防・市民防災について」

北九州市広報室広聴課

## 目 次

I 調査の概要	1
II 市政モニターの構成	1
III 調査結果	3
(1) 自主防災に関する事	3
(2) 消防団に関する事	8
(3) 救急に関する事	16
(4) 火災予防に関する事	24
(5) その他消防全般に関する事	29
IV 全体考察	35

## I 調査の概要

- (1) 調査対象者 市政モニター 150人  
 (2) 回答者数 132人(回答率88%)  
 (3) 調査実施日 平成30年7月23日(月)～平成30年8月7日(火)  
 (4) 実施方法 調査票による郵送及びインターネット調査  
 (5) 調査実施課 広報室広聴課 Tel582-2527  
 調査依頼課 消防局総務課 Tel582-3802

## II 市政モニターの構成

区分	合計	男性	女性	区分	合計	男性	女性
全体	150 (100.0%)	52 (34.7%)	98 (65.3%)	区 別			
10歳代	5 (3.3%)	1 (0.7%)	4 (2.7%)	門司区	16 (10.7%)	7 (4.7%)	9 (6.0%)
20歳代	13 (8.7%)	3 (2.0%)	10 (6.7%)	小倉北区	29 (19.3%)	10 (6.7%)	19 (12.7%)
30歳代	36 (24.0%)	9 (6.0%)	27 (18.0%)	小倉南区	32 (21.3%)	12 (8.0%)	20 (13.3%)
40歳代	36 (24.0%)	12 (8.0%)	24 (16.0%)	若松区	13 (8.7%)	4 (2.7%)	9 (6.0%)
50歳代	22 (14.7%)	6 (4.0%)	16 (10.7%)	八幡東区	10 (6.7%)	5 (3.3%)	5 (3.3%)
60歳代	28 (18.7%)	17 (11.3%)	11 (7.3%)	八幡西区	39 (26.0%)	12 (8.0%)	27 (18.0%)
70歳以上	10 (6.7%)	4 (2.7%)	6 (4.0%)	戸畑区	11 (7.3%)	2 (1.3%)	9 (6.0%)

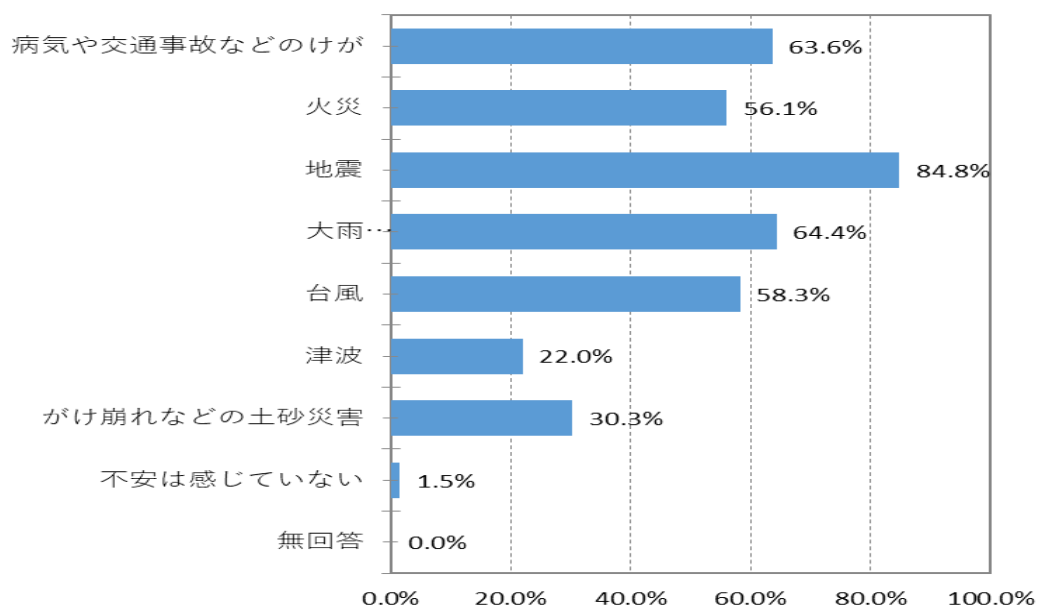
※ 数値の単位未満は四捨五入を原則としましたので、総数と内容の合計は一致しない場合があります。

※ 問15、17及び18につきましては、複数の回答をいただいておりますので、総数と内容の合計が一致していませんので、ご了承ください。

### Ⅲ 調査結果

#### 【自主防災に関すること】

問1 あなたは、どのような災害等に不安を感じていますか。(複数回答可)



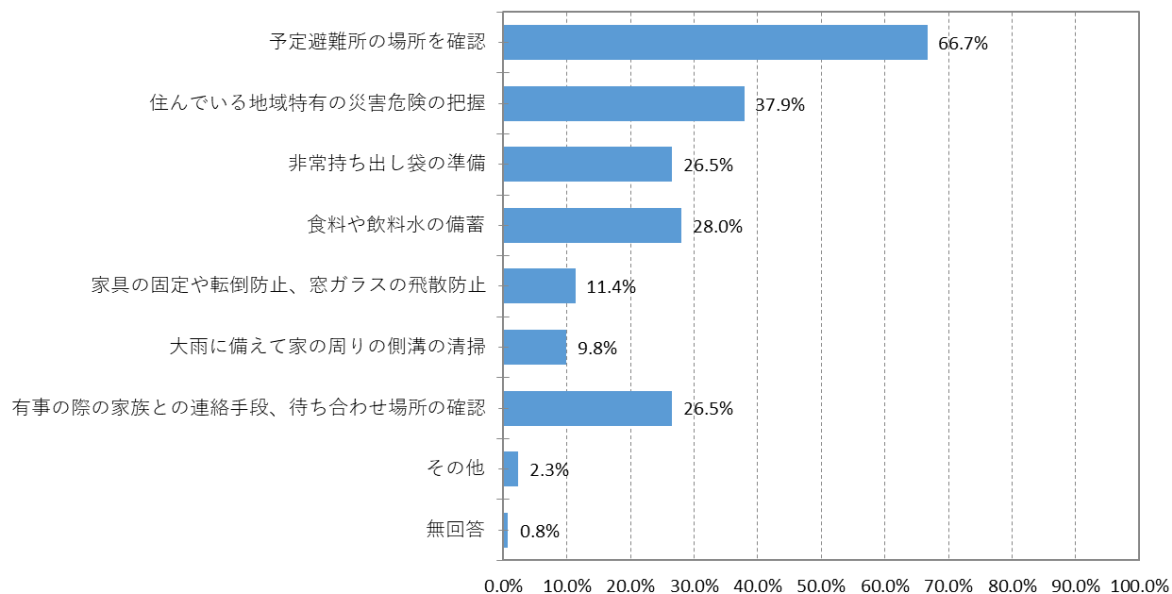
		回答者数	病気や交通事故などのけが	火災	地震	大雨 (集中豪雨)	台風	津波	がけ崩れ などの土砂災害	不安は感 じていな い	無回答
全体		132	63.6%	56.1%	84.8%	64.4%	58.3%	22.0%	30.3%	1.5%	0.0%
性別	男性	40	52.5%	45.0%	77.5%	65.0%	60.0%	22.5%	27.5%	2.5%	0.0%
	女性	92	68.5%	60.9%	88.0%	64.1%	57.6%	21.7%	31.5%	1.1%	0.0%
年代別	10歳代	3	66.7%	33.3%	100.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
	20歳代	11	45.5%	45.5%	81.8%	54.5%	36.4%	18.2%	45.5%	9.1%	0.0%
	30歳代	32	65.6%	50.0%	84.4%	75.0%	59.4%	28.1%	40.6%	0.0%	0.0%
	40歳代	30	65.6%	50.0%	84.4%	75.0%	59.4%	28.1%	40.6%	0.0%	0.0%
	50歳代	20	60.0%	60.0%	90.0%	73.3%	83.3%	26.7%	26.7%	0.0%	0.0%
	60歳代	27	59.3%	55.6%	81.5%	63.0%	59.3%	14.8%	25.9%	0.0%	0.0%
	70歳以上	9	66.7%	44.4%	66.7%	55.6%	55.6%	22.2%	22.2%	11.1%	0.0%
行政区別	門司区	15	60.0%	40.0%	93.3%	60.0%	53.3%	26.7%	46.7%	0.0%	0.0%
	小倉北区	25	72.0%	64.0%	84.0%	56.0%	44.0%	16.0%	24.0%	0.0%	0.0%
	小倉南区	28	64.3%	53.6%	71.4%	67.9%	64.3%	17.9%	28.6%	7.1%	0.0%
	若松区	13	76.9%	61.5%	100.0%	53.8%	53.8%	46.2%	30.8%	0.0%	0.0%
	八幡東区	8	62.5%	50.0%	100.0%	50.0%	62.5%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	33	57.6%	51.5%	84.8%	81.8%	72.7%	24.2%	36.4%	0.0%	0.0%
	戸畑区	10	50.0%	80.0%	80.0%	50.0%	40.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%

日ごろから不安を感じている災害等については、「地震」(84.8%)が最も多かったほか、ほとんどの人(98.5%)が、何らかの災害に不安を感じている結果となった。

問2 近年、熊本地震や九州北部豪雨など、避難を余儀なくされる大規模な災害が身近な地域で発生しており、北九州市内でも発生する可能性があります。

あなたは、このような大規模な災害に備え、日ごろ家庭内で準備していることがありますか。

(複数回答可)

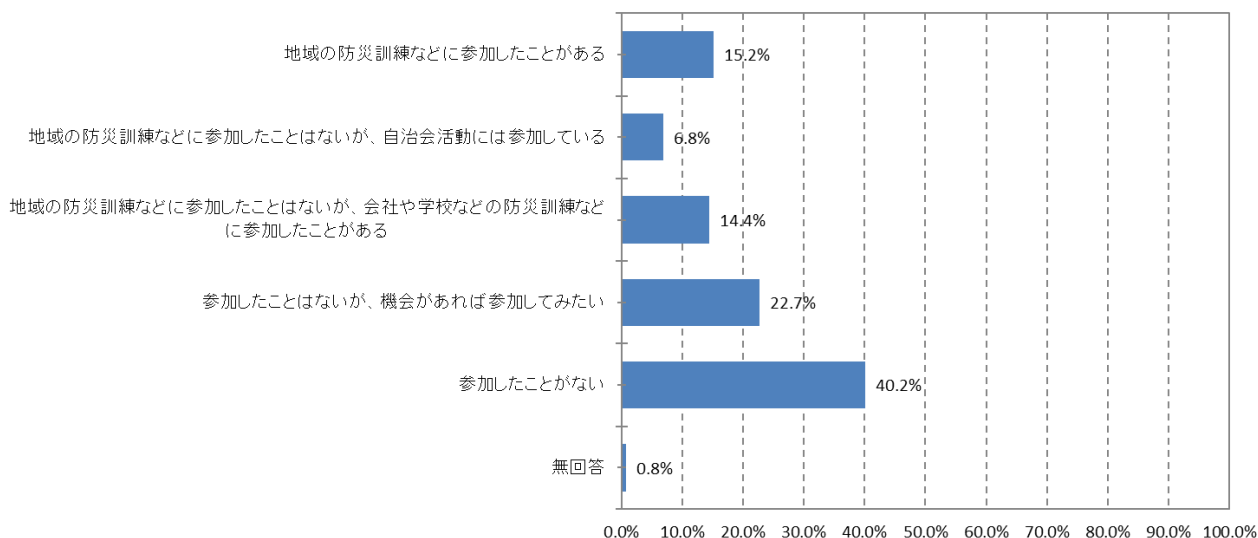


		回答者数	予定避難所の場所を確認	住んでいる地域特有の災害危険の把握	非常持ち出し袋の準備	食料や飲料水の備蓄	家具の固定や転倒防止、窓ガラスの飛散防止	大雨に備えて家の周りの側溝の清掃	有事の際の家族との連絡手段、待ち合わせ場所の確認	その他	無回答
全体		132	66.7%	37.9%	26.5%	28.0%	11.4%	9.8%	26.5%	2.3%	0.8%
性別	男性	40	65.0%	52.5%	25.0%	25.0%	12.5%	0.0%	25.0%	2.5%	0.0%
	女性	92	67.4%	31.5%	27.2%	29.3%	10.9%	14.1%	27.2%	2.2%	1.1%
年代別	10歳代	3	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	11	54.5%	9.1%	27.3%	45.5%	0.0%	0.0%	27.3%	0.0%	0.0%
	30歳代	32	68.8%	31.3%	34.4%	31.3%	15.6%	12.5%	34.4%	0.0%	0.0%
	40歳代	30	70.0%	50.0%	13.3%	23.3%	10.0%	6.7%	13.3%	0.0%	3.3%
	50歳代	20	55.0%	35.0%	30.0%	25.0%	10.0%	25.0%	30.0%	5.0%	0.0%
	60歳代	27	74.1%	48.1%	37.0%	25.9%	11.1%	3.7%	37.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	9	66.7%	44.4%	11.1%	33.3%	11.1%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%
行政区別	門司区	15	80.0%	20.0%	26.7%	46.7%	13.3%	0.0%	26.7%	6.7%	0.0%
	小倉北区	25	40.0%	36.0%	24.0%	24.0%	12.0%	16.0%	24.0%	0.0%	4.0%
	小倉南区	28	67.9%	46.4%	14.3%	28.6%	10.7%	17.9%	14.3%	3.6%	0.0%
	若松区	13	69.2%	38.5%	30.8%	15.4%	15.4%	0.0%	30.8%	0.0%	0.0%
	八幡東区	8	87.5%	25.0%	37.5%	25.0%	12.5%	12.5%	37.5%	0.0%	0.0%
	八幡西区	33	66.7%	45.5%	33.3%	30.3%	12.1%	6.1%	33.3%	0.0%	0.0%
	戸畑区	10	90.0%	30.0%	30.0%	20.0%	0.0%	10.0%	30.0%	10.0%	0.0%

大規模な災害に備え、日ごろから家庭内で準備していることについては、「予定避難所の場所を確認」(66.7%)が最も多く、すべての年代別でも最も多かった。

問3 北九州市では阪神・淡路大震災を教訓として、自治会を母体とする「市民防災会」を結成し、住民が主体となって自主防災活動に取り組んでいます。

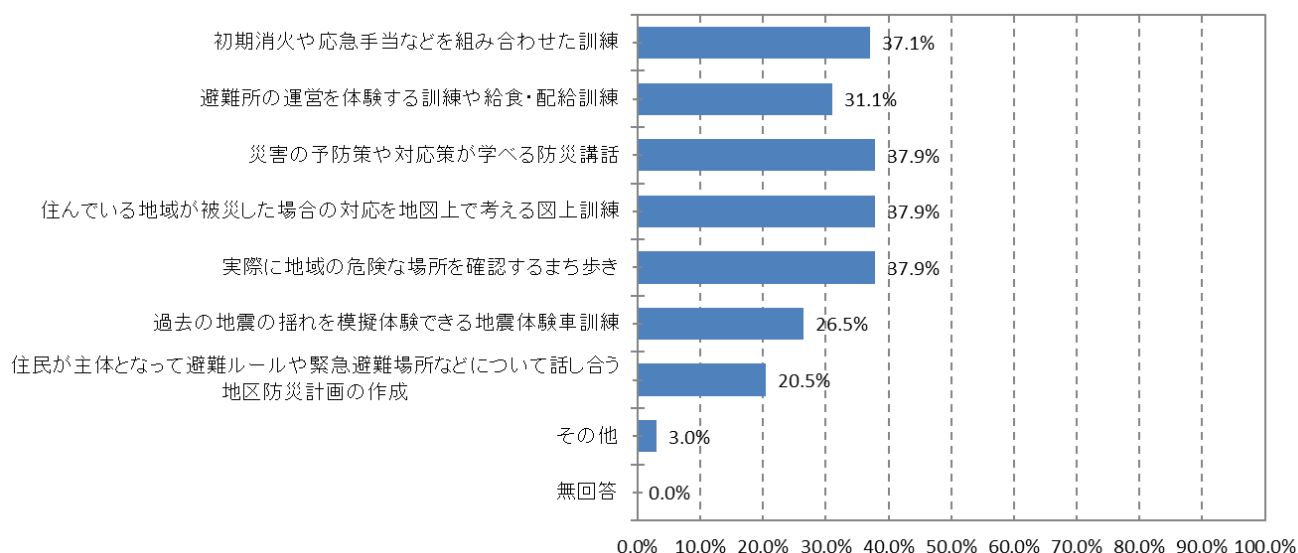
あなたは、住んでいる地域の防災訓練などに参加したことはありますか。



		回答者数	地域の防災訓練などに参加したことがある	地域の防災訓練などに参加したことはないが、自治会活動には参加している	地域の防災訓練などに参加したことはないが、会社や学校などの防災訓練などに参加したことがある	参加したことはないが、機会があれば参加してみたい	参加したことがない	無回答
全体		132	15.2%	6.8%	14.4%	22.7%	40.2%	0.8%
性別	男性	40	25.0%	5.0%	12.5%	25.0%	32.5%	0.0%
	女性	92	10.9%	7.6%	15.2%	21.7%	43.5%	1.1%
年代別	10歳代	3	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%
	20歳代	11	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%	81.8%	0.0%
	30歳代	32	0.0%	3.1%	9.4%	21.9%	65.6%	0.0%
	40歳代	30	6.7%	3.3%	20.0%	40.0%	30.0%	0.0%
	50歳代	20	15.0%	5.0%	20.0%	30.0%	25.0%	5.0%
	60歳代	27	40.7%	18.5%	11.1%	11.1%	18.5%	0.0%
	70歳以上	9	44.4%	11.1%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%
行政区別	門司区	15	13.3%	6.7%	20.0%	13.3%	46.7%	0.0%
	小倉北区	25	4.0%	12.0%	4.0%	36.0%	44.0%	0.0%
	小倉南区	28	17.9%	10.7%	21.4%	10.7%	39.3%	0.0%
	若松区	13	7.7%	7.7%	7.7%	30.8%	38.5%	7.7%
	八幡東区	8	50.0%	0.0%	12.5%	12.5%	25.0%	0.0%
	八幡西区	33	18.2%	3.0%	15.2%	21.2%	42.4%	0.0%
	戸畑区	10	10.0%	0.0%	20.0%	40.0%	30.0%	0.0%

住んでいる地域の防災訓練への参加については、「参加したことがない」（40.2%）が最も多かった。

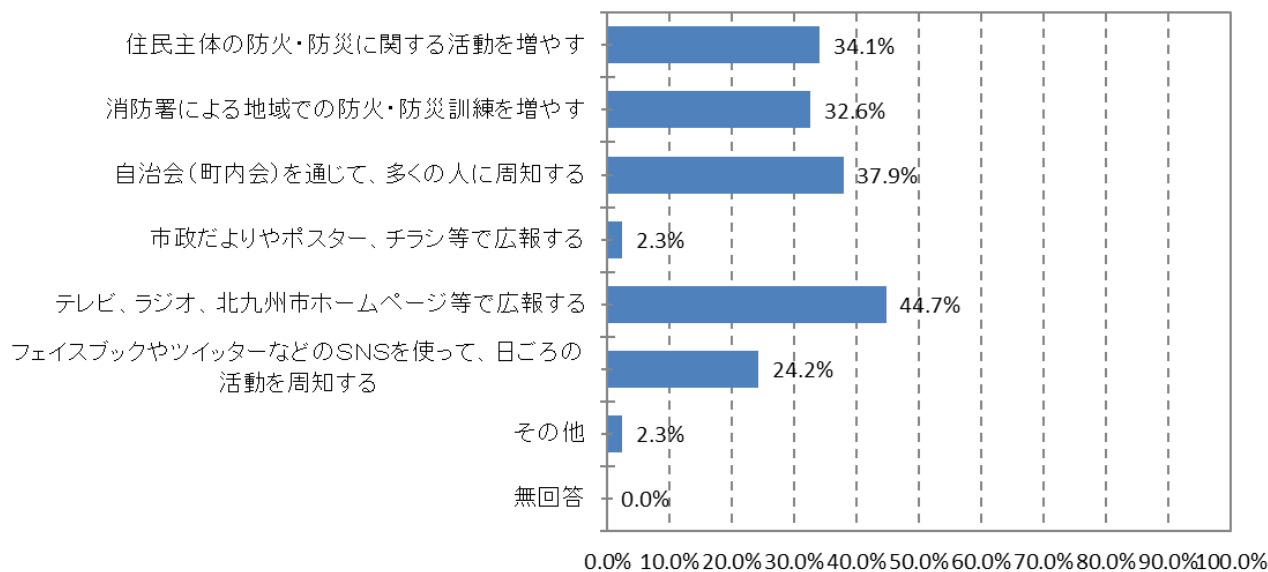
問4 「市民防災会」や地域の防災の取り組みなどで参加してみたいものはありますか。(複数回答可)



		回答者数	初期消火や応急手当などを組み合わせた訓練	避難所の運営を体験する訓練や給食・配給訓練	災害の予防策や対応策が学べる防災講話	住んでいる地域が被災した場合の対応を地図上で考える図上訓練	実際に地域の危険な場所を確認するまち歩き	過去の地震の揺れを模擬体験できる地震体験車訓練	住民が主体となって避難ルールや緊急避難場所などについて話し合う地区防災計画の作成	その他	無回答
全体		132	37.1%	31.1%	37.9%	37.9%	37.9%	26.5%	20.5%	3.0%	0.0%
性別	男性	40	22.5%	35.0%	32.5%	40.0%	45.0%	25.0%	27.5%	2.5%	0.0%
	女性	92	43.5%	29.3%	40.2%	37.0%	34.8%	27.2%	17.4%	3.3%	0.0%
年代別	10歳代	3	33.3%	66.7%	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	11	18.2%	9.1%	27.3%	27.3%	54.5%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	32	53.1%	31.3%	31.3%	31.3%	34.4%	28.1%	18.8%	3.1%	0.0%
	40歳代	30	30.0%	40.0%	46.7%	36.7%	36.7%	33.3%	20.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	20	55.0%	15.0%	50.0%	40.0%	20.0%	15.0%	15.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	27	22.2%	33.3%	33.3%	48.1%	44.4%	18.5%	29.6%	3.7%	0.0%
	70歳以上	9	33.3%	44.4%	33.3%	33.3%	55.6%	33.3%	44.4%	22.2%	0.0%
行政区別	門司区	15	20.0%	33.3%	13.3%	33.3%	33.3%	26.7%	13.3%	13.3%	0.0%
	小倉北区	25	44.0%	36.0%	48.0%	44.0%	44.0%	36.0%	28.0%	4.0%	0.0%
	小倉南区	28	42.9%	39.3%	53.6%	39.3%	35.7%	21.4%	28.6%	3.6%	0.0%
	若松区	13	23.1%	30.8%	23.1%	38.5%	38.5%	38.5%	15.4%	0.0%	0.0%
	八幡東区	8	37.5%	50.0%	25.0%	12.5%	25.0%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%
	八幡西区	33	45.5%	21.2%	39.4%	39.4%	39.4%	24.2%	15.2%	0.0%	0.0%
	戸畑区	10	20.0%	10.0%	30.0%	40.0%	40.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%

市民防災会や地域の防災の取り組みで参加してみたいものについては、「災害の予防策や対応策が学べる防災講話」、「住んでいる地域が被災した場合の対応を地図上で考える図上訓練」、「実際に地域の危険な場所を確認するまち歩き」(37.9%)の3項目が同率で多かった。

問5 自主防災組織である「市民防災会」をより多くの方に知ってもらい、自主防災活動に参加してもらうためにはどうすればよいと思いますか。(複数回答可)



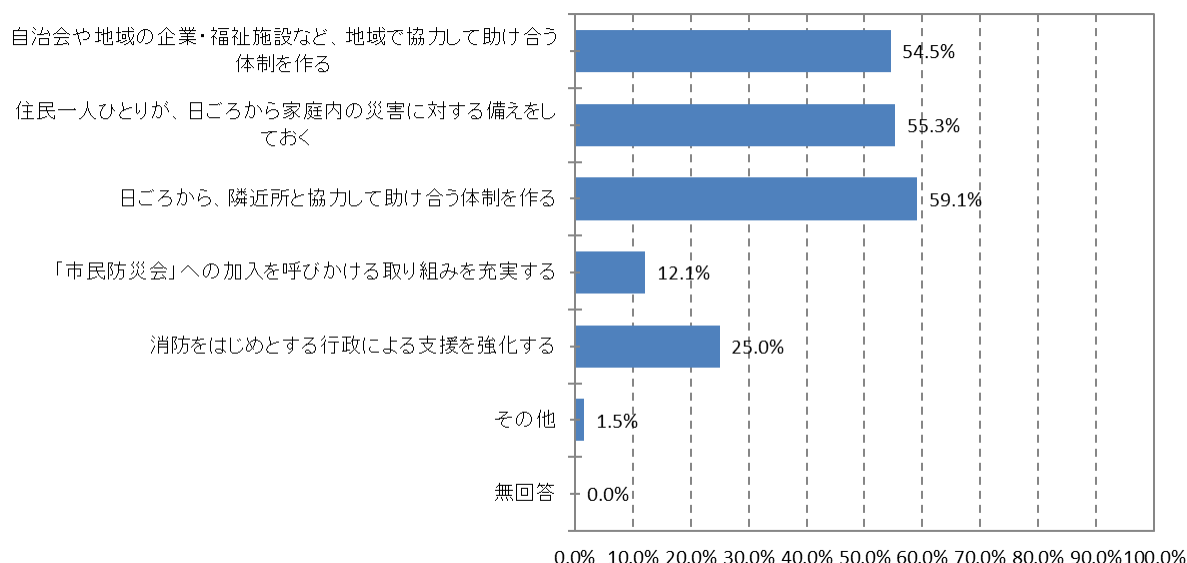
		回答者数	住民主体の防火・防災に関する活動を増やす	消防署による地域での防火・防災訓練を増やす	自治会(町内会)を通じて、多くの人に周知する	市政だよりやポスター、チラシ等で広報する	テレビ、ラジオ、北九州市ホームページ等で広報する	フェイスブックやツイッターなどのSNSを使って、日ごろの活動を周知する	その他	無回答
全体		132	34.1%	32.6%	37.9%	2.3%	44.7%	24.2%	2.3%	0.0%
性別	男性	40	37.5%	27.5%	45.0%	0.0%	32.5%	27.5%	0.0%	0.0%
	女性	92	32.6%	34.8%	34.8%	3.3%	50.0%	22.8%	3.3%	0.0%
年代別	10歳代	3	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%
	20歳代	11	27.3%	18.2%	18.2%	0.0%	45.5%	45.5%	0.0%	0.0%
	30歳代	32	31.3%	31.3%	31.3%	3.1%	50.0%	31.3%	3.1%	0.0%
	40歳代	30	23.3%	40.0%	40.0%	3.3%	53.3%	30.0%	3.3%	0.0%
	50歳代	20	40.0%	30.0%	30.0%	5.0%	60.0%	20.0%	5.0%	0.0%
	60歳代	27	40.7%	40.7%	51.9%	0.0%	22.2%	7.4%	0.0%	0.0%
	70歳以上	9	55.6%	22.2%	55.6%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
行政区別	門司区	15	13.3%	33.3%	40.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
	小倉北区	25	32.0%	36.0%	24.0%	4.0%	44.0%	16.0%	4.0%	0.0%
	小倉南区	28	57.1%	25.0%	39.3%	3.6%	46.4%	17.9%	3.6%	0.0%
	若松区	13	30.8%	30.8%	38.5%	7.7%	46.2%	38.5%	7.7%	0.0%
	八幡東区	8	50.0%	62.5%	50.0%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%
	八幡西区	33	30.3%	24.2%	51.5%	0.0%	54.5%	30.3%	0.0%	0.0%
	戸畑区	10	10.0%	50.0%	10.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%

市民防災会の周知や活動への参加促進方法については、「テレビ、ラジオ、北九州市ホームページ等で広報する」(44.7%)が最も多かった。



問6 阪神・淡路大震災では、建物に閉じ込められたりした人の多くが、近隣の住民などによって助け出されたとされています。

いつ起きかわからない大規模な地震や風水害に備えて、地域の自主防災力を高めるには、どのような取り組みが必要だと思いますか。（複数回答可）

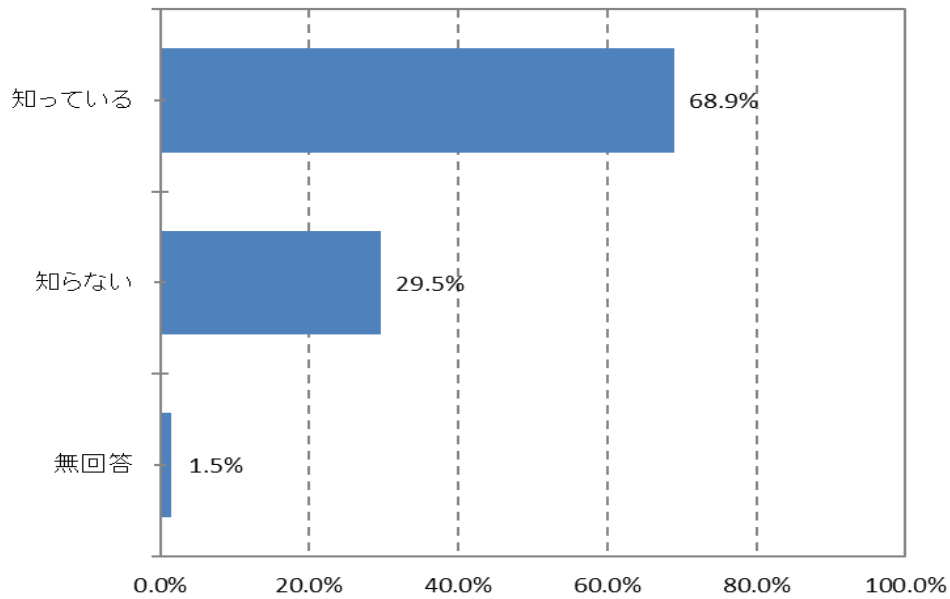


		回答者数	自治会や地域の企業・福祉施設など、地域で協力して助け合う体制を作る	住民一人ひとりが、日ごろから家庭内の災害に対する備えをしておく	日ごろから、隣近所と協力して助け合う体制を作る	「市民防災会」への加入を呼びかける取り組みを充実する	消防をはじめとする行政による支援を強化する	その他	無回答
全体		132	54.5%	55.3%	59.1%	12.1%	25.0%	1.5%	0.0%
性別	男性	40	67.5%	35.0%	65.0%	17.5%	27.5%	2.5%	0.0%
	女性	92	48.9%	64.1%	56.5%	9.8%	23.9%	1.1%	0.0%
年代別	10歳代	3	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	11	45.5%	63.6%	45.5%	0.0%	36.4%	0.0%	0.0%
	30歳代	32	46.9%	56.3%	65.6%	18.8%	18.8%	3.1%	0.0%
	40歳代	30	43.3%	63.3%	53.3%	6.7%	33.3%	3.3%	0.0%
	50歳代	20	65.0%	45.0%	45.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	27	66.7%	55.6%	70.4%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%
	70歳以上	9	66.7%	33.3%	77.8%	22.2%	33.3%	0.0%	0.0%
行政区別	門司区	15	60.0%	53.3%	66.7%	6.7%	26.7%	0.0%	0.0%
	小倉北区	25	52.0%	60.0%	56.0%	8.0%	24.0%	0.0%	0.0%
	小倉南区	28	64.3%	53.6%	64.3%	14.3%	21.4%	0.0%	0.0%
	若松区	13	76.9%	46.2%	30.8%	15.4%	7.7%	15.4%	0.0%
	八幡東区	8	37.5%	62.5%	75.0%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%
	八幡西区	33	45.5%	60.6%	63.6%	15.2%	33.3%	0.0%	0.0%
	戸畑区	10	40.0%	40.0%	50.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%

大規模な災害に備え、地域の自主防災力を高めるために、どのような取り組みが必要かについては、「日ごろから、隣近所と協力して助け合う体制を作る」（59.1%）が最も多く、次に「住民一人ひとりが、日ごろから家庭内の災害に対する備えをしておく」（55.3%）となるなど、自助、共助が必要だと思う人が多い結果となった。

【消防団に関すること】

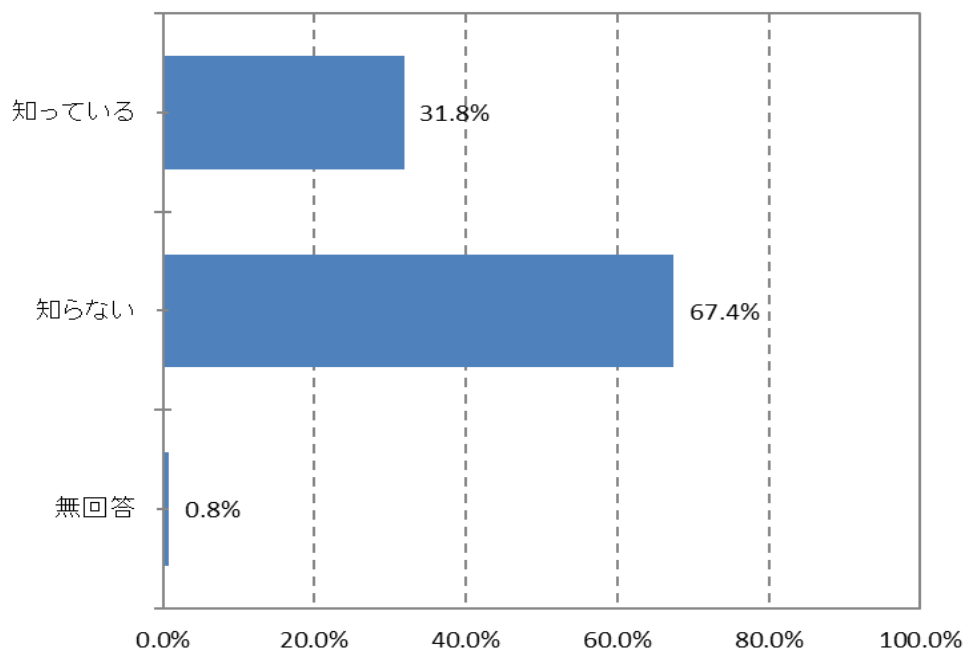
問7 あなたは、消防団員が他に本業を持ちながらボランティアとして活動していることを知っていますか。



		回答者数	知っている	知らない	無回答
全体		132	68.9%	29.5%	1.5%
性別	男性	40	75.0%	25.0%	0.0%
	女性	92	66.3%	31.5%	2.2%
年代別	10歳代	3	66.7%	33.3%	0.0%
	20歳代	11	54.5%	45.5%	0.0%
	30歳代	32	62.5%	34.4%	3.1%
	40歳代	30	80.0%	20.0%	0.0%
	50歳代	20	50.0%	45.0%	5.0%
	60歳代	27	81.5%	18.5%	0.0%
	70歳以上	9	77.8%	22.2%	0.0%
行政区別	門司区	15	86.7%	13.3%	0.0%
	小倉北区	25	56.0%	44.0%	0.0%
	小倉南区	28	71.4%	25.0%	3.6%
	若松区	13	84.6%	15.4%	0.0%
	八幡東区	8	62.5%	37.5%	0.0%
	八幡西区	33	66.7%	30.3%	3.0%
	戸畑区	10	60.0%	40.0%	0.0%

消防団員が、他に本業を持ちながらボランティアとして活動していることについては、68.9%の方が「知っている」と回答した。

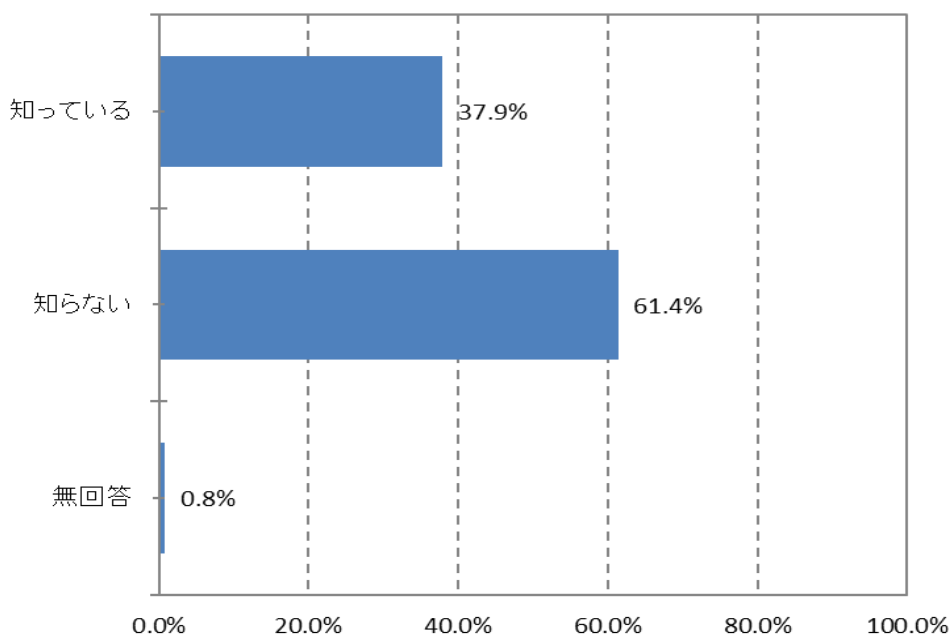
問8 あなたは、本市で女性の消防団員が活躍していることを知っていますか。



		回答者数	知っている	知らない	無回答
全体		132	31.8%	67.4%	0.8%
性別	男性	40	40.0%	60.0%	0.0%
	女性	92	28.3%	70.7%	1.1%
年代別	10歳代	3	0.0%	100.0%	0.0%
	20歳代	11	36.4%	63.6%	0.0%
	30歳代	32	18.8%	81.3%	0.0%
	40歳代	30	50.0%	50.0%	0.0%
	50歳代	20	25.0%	70.0%	5.0%
	60歳代	27	40.7%	59.3%	0.0%
	70歳以上	9	11.1%	88.9%	0.0%
行政区別	門司区	15	33.3%	66.7%	0.0%
	小倉北区	25	32.0%	68.0%	0.0%
	小倉南区	28	21.4%	78.6%	0.0%
	若松区	13	23.1%	69.2%	7.7%
	八幡東区	8	25.0%	75.0%	0.0%
	八幡西区	33	48.5%	51.5%	0.0%
	戸畑区	10	20.0%	80.0%	0.0%

本市で女性の消防団員が活躍していることについては、67.4%の方が「知らない」と回答した。

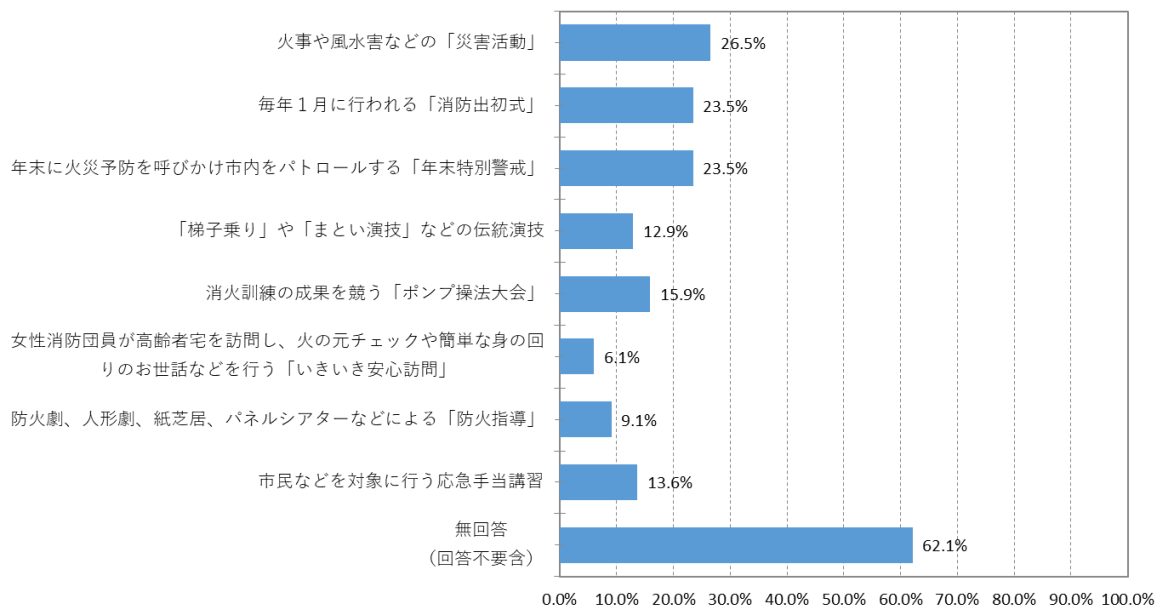
問9 あなたは、消防団がどのような活動をしているか知っていますか。



		回答者数	知っている	知らない	無回答
全体		132	37.9%	61.4%	0.8%
性別	男性	40	57.5%	40.0%	2.5%
	女性	92	29.3%	70.7%	0.0%
年代別	10歳代	3	33.3%	66.7%	0.0%
	20歳代	11	9.1%	90.9%	0.0%
	30歳代	32	28.1%	71.9%	0.0%
	40歳代	30	33.3%	66.7%	0.0%
	50歳代	20	30.0%	65.0%	5.0%
	60歳代	27	66.7%	33.3%	0.0%
	70歳以上	9	55.6%	44.4%	0.0%
行政区別	門司区	15	40.0%	60.0%	0.0%
	小倉北区	25	28.0%	72.0%	0.0%
	小倉南区	28	28.6%	71.4%	0.0%
	若松区	13	38.5%	61.5%	0.0%
	八幡東区	8	50.0%	50.0%	0.0%
	八幡西区	33	48.5%	51.5%	0.0%
	戸畑区	10	40.0%	50.0%	10.0%

消防団がどのような活動を行っているかについては、61.4%の方が「知らない」と回答した。

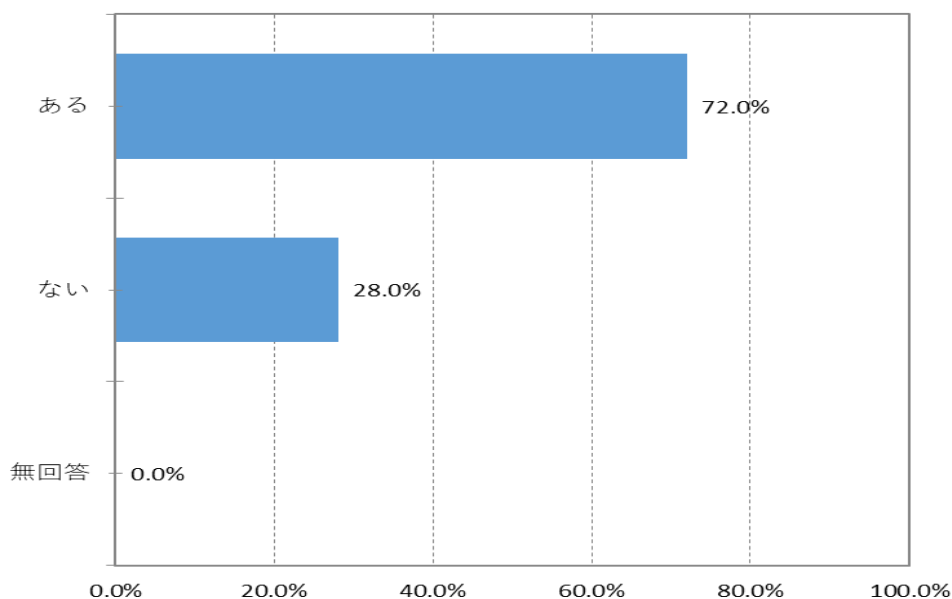
問10 問9で「知っている」と答えた方は、次の中から選んでください。(複数回答可)



	回答者数	火事や風水害などの「災害活動」	毎年1月に行われる「消防出初式」	年末に火災予防を呼びかけ市内をパトロールする「年末特別警戒」	「梯子乗り」や「まとい演技」などの伝統演技	消火訓練の成果を競う「ポンプ操法大会」	女性消防団員が高齢者宅を訪問し、火の元チェックや簡単な身の回りのお世話などを行う「いきいき安心訪問」	防火劇、人形劇、紙芝居、パネルシアターなどによる「防火指導」	市民などを対象に行う応急手当講習	無回答 (回答不要含)	
全体	132	26.5%	23.5%	23.5%	12.9%	15.9%	6.1%	9.1%	13.6%	62.1%	
性別	男性	40	42.5%	45.0%	40.0%	22.5%	25.0%	12.5%	15.0%	22.5%	40.0%
	女性	92	19.6%	14.1%	16.3%	8.7%	12.0%	3.3%	6.5%	9.8%	71.7%
年代別	10歳代	3	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%
	20歳代	11	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	90.9%
	30歳代	32	18.8%	12.5%	9.4%	6.3%	9.4%	3.1%	9.4%	9.4%	71.9%
	40歳代	30	18.8%	12.5%	9.4%	6.3%	9.4%	3.1%	9.4%	9.4%	71.9%
	50歳代	20	20.0%	23.3%	20.0%	10.0%	13.3%	6.7%	10.0%	13.3%	66.7%
	60歳代	27	51.9%	40.7%	48.1%	25.9%	37.0%	7.4%	11.1%	25.9%	33.3%
	70歳以上	9	55.6%	44.4%	44.4%	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%	44.4%
行政区別	門司区	15	26.7%	33.3%	33.3%	20.0%	13.3%	6.7%	0.0%	13.3%	60.0%
	小倉北区	25	20.0%	16.0%	16.0%	4.0%	12.0%	0.0%	8.0%	4.0%	72.0%
	小倉南区	28	21.4%	10.7%	14.3%	10.7%	7.1%	7.1%	3.6%	10.7%	71.4%
	若松区	13	15.4%	30.8%	23.1%	15.4%	15.4%	7.7%	15.4%	30.8%	61.5%
	八幡東区	8	37.5%	37.5%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	12.5%	25.0%	50.0%
	八幡西区	33	36.4%	30.3%	24.2%	15.2%	27.3%	9.1%	15.2%	18.2%	51.5%
	戸畑区	10	30.0%	20.0%	30.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	60.0%

消防団の活動で知っている活動については、「火事や風水害などの災害活動」(26.5%)が最も多かった。

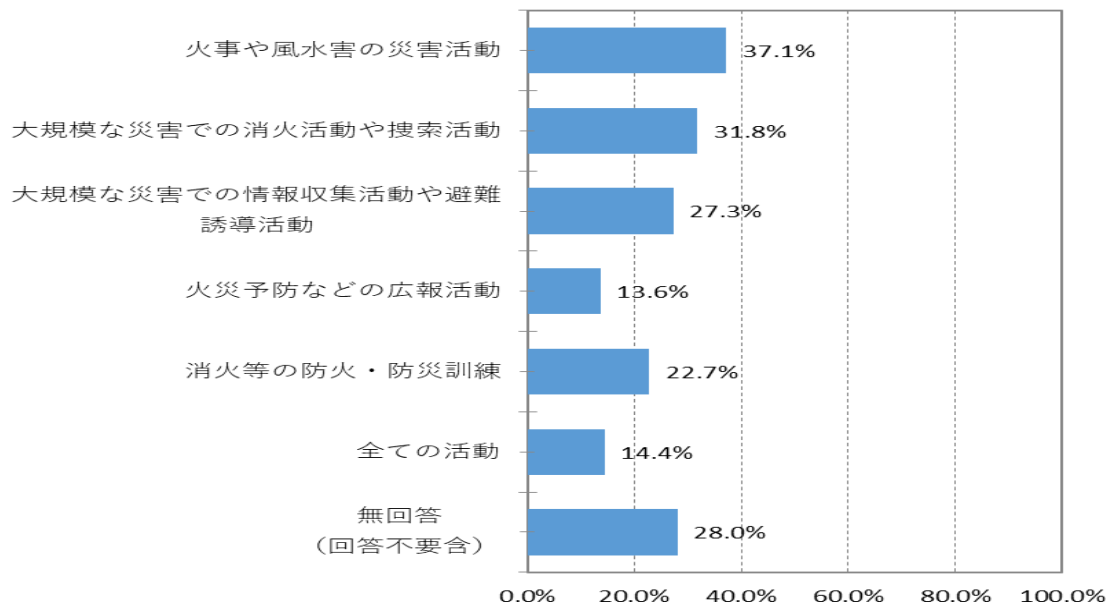
問 1 1 消防団は、市民の安全・安心を守るために活動する地域の身近な防災機関です。  
あなたは消防団が行っている「地域の防災活動」に興味や関心がありますか。



		回 答 者 数	あ る	な い	無 回 答
全体		132	72.0%	28.0%	0.0%
性 別	男性	40	77.5%	22.5%	0.0%
	女性	92	69.6%	30.4%	0.0%
年 代 別	10歳代	3	66.7%	33.3%	0.0%
	20歳代	11	45.5%	54.5%	0.0%
	30歳代	32	75.0%	25.0%	0.0%
	40歳代	30	75.0%	25.0%	0.0%
	50歳代	20	73.3%	26.7%	0.0%
	60歳代	27	74.1%	25.9%	0.0%
	70歳以上	9	88.9%	11.1%	0.0%
行 政 区 別	門司区	15	73.3%	26.7%	0.0%
	小倉北区	25	84.0%	16.0%	0.0%
	小倉南区	28	71.4%	28.6%	0.0%
	若松区	13	69.2%	30.8%	0.0%
	八幡東区	8	62.5%	37.5%	0.0%
	八幡西区	33	72.7%	27.3%	0.0%
	戸畑区	10	50.0%	50.0%	0.0%

消防団が行っている地域の防災活動に興味や関心があるかについては、7割以上の人が興味や関心が「ある」と回答した。

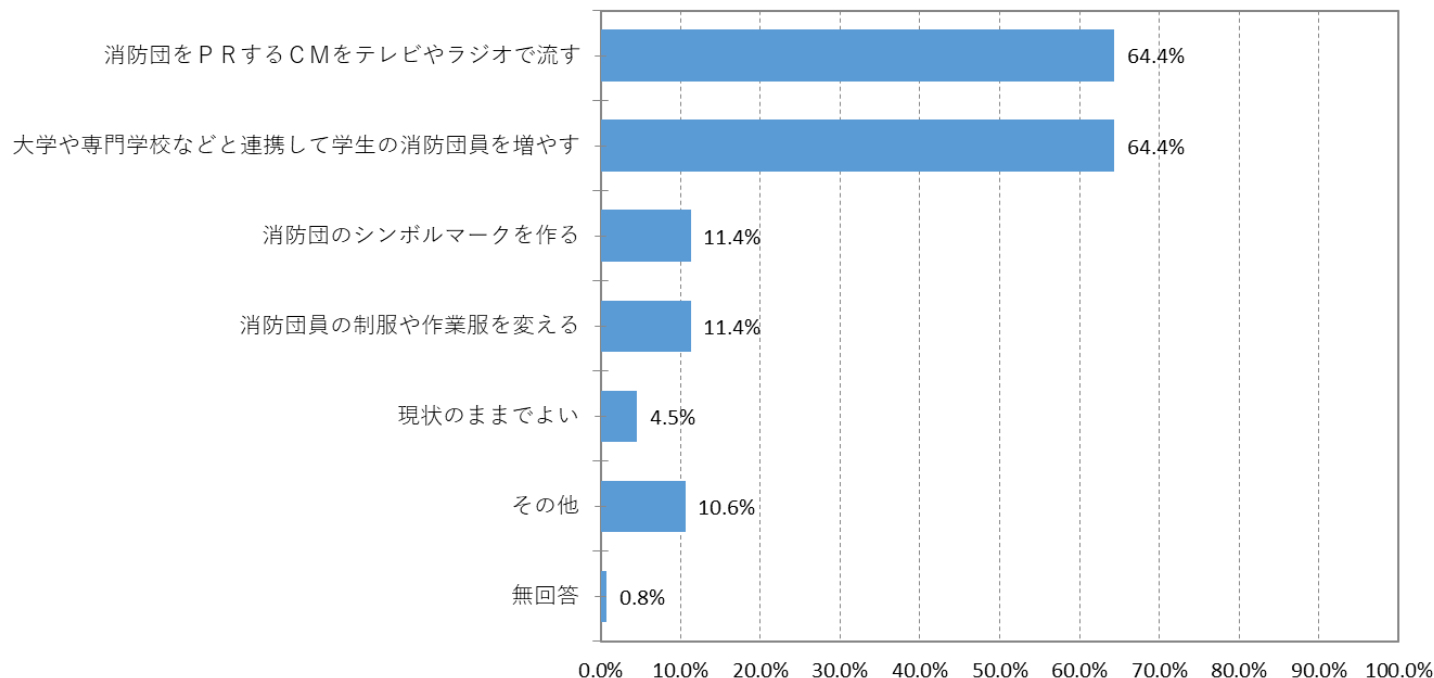
問12 問11で「ある」と答えた方は、どのような活動に興味や関心があるか次の中から選んでください。  
(複数回答可)



		回 答 者 数	火事や風水害 の災害活動	大規模な災害 での消火活動 や捜索活動	大規模な災害で の情報収集活動 や避難誘導活動	火災予防などの 広報活動	消火等の防火・ 防災訓練	全ての活動	無回答 (回答不要含)
全体		132	37.1%	31.8%	27.3%	13.6%	22.7%	14.4%	28.0%
性 別	男性	40	40.0%	32.5%	27.5%	20.0%	22.5%	15.0%	22.5%
	女性	92	35.9%	31.5%	27.2%	10.9%	22.8%	14.1%	30.4%
年 代 別	10歳代	3	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%
	20歳代	11	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%	9.1%	27.3%	54.5%
	30歳代	32	37.5%	37.5%	34.4%	15.6%	21.9%	9.4%	28.1%
	40歳代	30	37.5%	37.5%	34.4%	15.6%	21.9%	9.4%	28.1%
	50歳代	20	46.7%	43.3%	26.7%	10.0%	30.0%	20.0%	23.3%
	60歳代	27	40.7%	33.3%	33.3%	18.5%	22.2%	7.4%	25.9%
	70歳以上	9	66.7%	33.3%	33.3%	22.2%	44.4%	0.0%	11.1%
行 政 区 別	門司区	15	26.7%	26.7%	20.0%	20.0%	26.7%	20.0%	26.7%
	小倉北区	25	36.0%	36.0%	52.0%	20.0%	28.0%	20.0%	12.0%
	小倉南区	28	53.6%	39.3%	28.6%	10.7%	17.9%	10.7%	28.6%
	若松区	13	30.8%	23.1%	15.4%	7.7%	23.1%	30.8%	30.8%
	八幡東区	8	25.0%	50.0%	12.5%	25.0%	12.5%	12.5%	37.5%
	八幡西区	33	39.4%	30.3%	24.2%	12.1%	27.3%	6.1%	30.3%
	戸畑区	10	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	10.0%	50.0%

消防団が行っている地域の防災活動で興味や関心があるものについては、「火事や風水害の災害活動」(37.1%)が最も多かった。

問13 今後、若い世代の入団を促すため、また、消防団をより親しみのある組織として感じていただくためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。次の中から選んでください。また、意見等があれば記入をお願いします。(複数回答可)



		回答者数	消防団をPRするCMをテレビやラジオで流す	大学や専門学校などと連携して学生の消防団員を増やす	消防団のシンボルマークを作る	消防団員の制服や作業服を変える	現状のままでよい	その他	無回答
全体		132	64.4%	64.4%	11.4%	11.4%	4.5%	10.6%	0.8%
性別	男性	40	60.0%	57.5%	7.5%	12.5%	0.0%	12.5%	2.5%
	女性	92	66.3%	67.4%	13.0%	10.9%	6.5%	9.8%	0.0%
年代別	10歳代	3	100.0%	100.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	11	36.4%	72.7%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%
	30歳代	32	68.8%	68.8%	6.3%	9.4%	3.1%	12.5%	0.0%
	40歳代	30	68.8%	68.8%	6.3%	9.4%	3.1%	12.5%	0.0%
	50歳代	20	56.7%	63.3%	13.3%	10.0%	10.0%	13.3%	0.0%
	60歳代	27	74.1%	51.9%	22.2%	14.8%	0.0%	14.8%	3.7%
	70歳以上	9	77.8%	77.8%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%
行政区別	門司区	15	60.0%	60.0%	20.0%	13.3%	0.0%	6.7%	6.7%
	小倉北区	25	60.0%	56.0%	12.0%	20.0%	12.0%	16.0%	0.0%
	小倉南区	28	71.4%	67.9%	14.3%	7.1%	0.0%	7.1%	0.0%
	若松区	13	61.5%	53.8%	7.7%	15.4%	15.4%	23.1%	0.0%
	八幡東区	8	62.5%	62.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	33	66.7%	69.7%	3.0%	9.1%	3.0%	9.1%	0.0%
	戸畑区	10	60.0%	80.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%

今後の若い世代の入団促進や親しみのある消防団組織のための取り組みについては、「消防団をPRするCMをテレビやラジオで流す」(64.4%)と「大学や専門学校などと連携して学生の消防団員を増やす」(64.4%)の2項目が同率で最も多かった。



問14 消防団活動や消防・防災行政について、ご意見、ご要望があれば何でも結構ですのでご記入ください。

- 消防団があるのは知っているが、実情や、活動内容等を全く知らないで、いまいち身近に感じることができない。(30代女性)
- 自治体が率先して、消防団と地域との連携した事業を実施して、地域住民にもっと理解してもらえるような努力が欲しい。(60代女性)
- 周りに消防団に入っている人がいないので、何をしているのか分からない。(40代女性)
- 地域の消防団を見る機会があればいいと思います。(40代女性)
- 新興住宅街に住んでいますが、消防団があるのかどうか分からないので、教えてほしい。(30代女性)
- 活動内容を全く知らないで、定期的に回覧板などで知らせてほしい。(40代女性)
- 消防団の方々がいると安心するので、もっと募集案内を行ってほしい。(50代女性)
- 消防団に入るには、資格や推薦が必要なのでしょうか。学生等若い人が活動できれば良いと思います。(60代女性)
- 地域の生命、財産を守る大変なお仕事だと思いますが、これからもよろしくお願いします。(40代女性)
- 今回の水害で恐怖を感じました。消防団の普段の活動を知りたく思いました。(30代女性)
- 身近に情報を得ることがあまりないのでわからない。大型商業施設などでイベント等があれば知るきっかけになると思う。(20代女性)

問14では、全部で、40件のご意見・ご要望をいただきました。

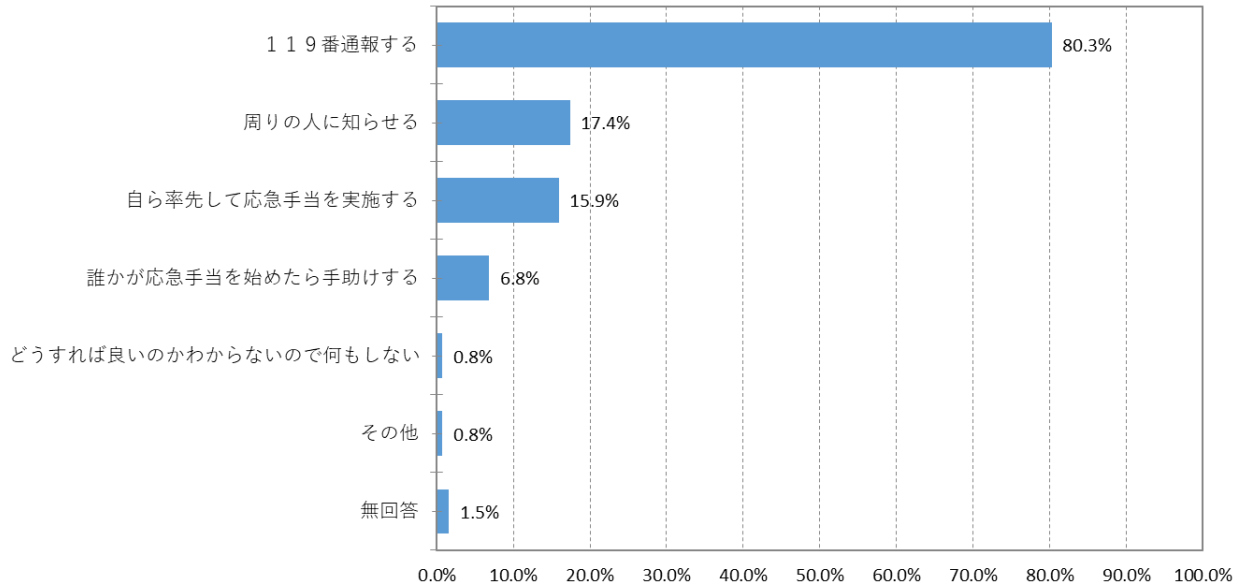
今回は、いただきましたご意見・ご要望の中から抽出し、掲載させていただきました。

また、他のご意見・ご要望につきましても、今後の活動の参考とさせていただきます。

たくさんのご意見・ご要望ありがとうございました。

## 【救急に関すること】

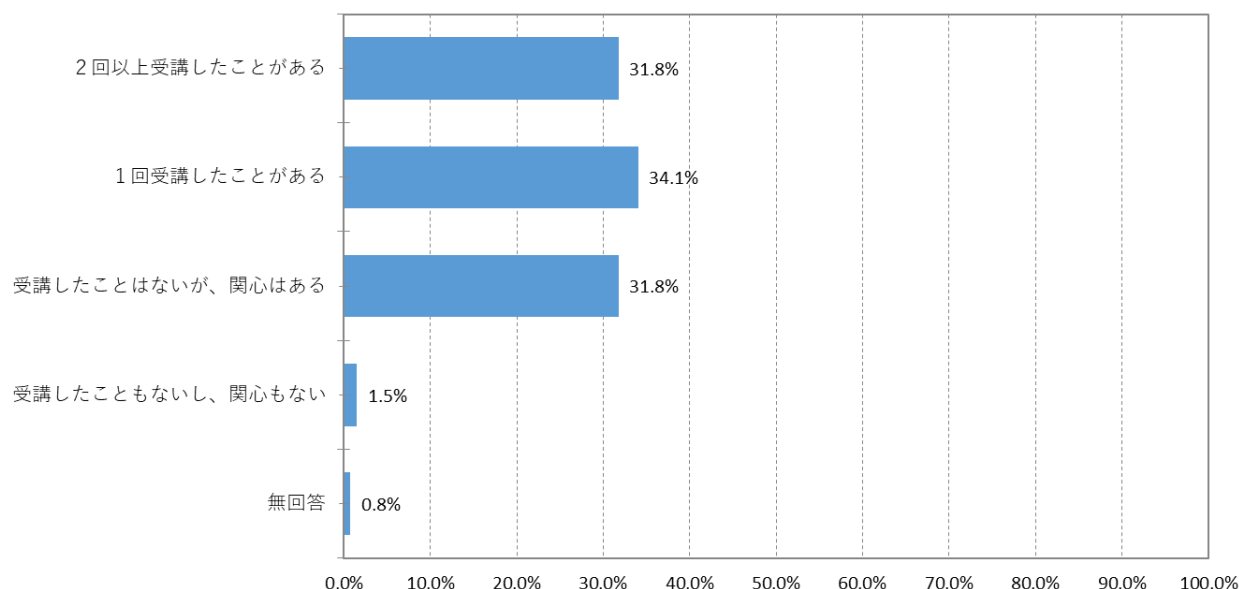
問15 あなたの身の回りで急病人やけが人が発生した場合、あなたはどのようにしますか。（※複数回答有）



		回答者数	119番通報する	周りの人に知らせる	自ら率先して応急手当を実施する	誰かが応急手当を始めたなら手助けする	どうすれば良いのかわからないので何もしない	その他	無回答
全体		132	80.3%	17.4%	15.9%	6.8%	0.8%	0.8%	1.5%
性別	男性	40	77.5%	15.0%	20.0%	5.0%	0.0%	2.5%	0.0%
	女性	92	81.5%	18.5%	14.1%	7.6%	1.1%	0.0%	2.2%
年代別	10歳代	3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	11	72.7%	18.2%	27.3%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	32	78.1%	25.0%	15.6%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	30	78.1%	25.0%	15.6%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	20	70.0%	20.0%	26.7%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	27	92.6%	11.1%	7.4%	11.1%	0.0%	3.7%	0.0%
	70歳以上	9	77.8%	33.3%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%
行政区別	門司区	15	73.3%	0.0%	13.3%	0.0%	6.7%	6.7%	0.0%
	小倉北区	25	92.0%	28.0%	12.0%	12.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	小倉南区	28	78.6%	21.4%	14.3%	3.6%	0.0%	0.0%	3.6%
	若松区	13	61.5%	7.7%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%
	八幡東区	8	62.5%	37.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	33	81.8%	15.2%	24.2%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	戸畑区	10	100.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

身の回りで急病人やけが人が発生した場合の行動については、「119番通報する」（80.3%）が最も多く、次いで「周りの人に知らせる」（17.4%）、「自ら率先して応急手当を実施する」（15.9%）など、ほとんどの人が何らかの行動を起こす結果となった。

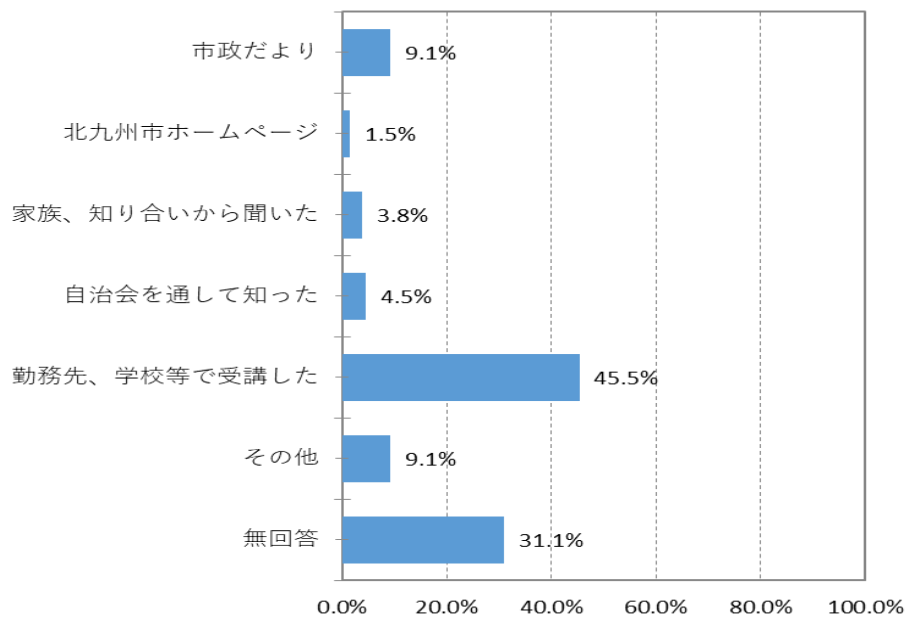
問16 あなたはこれまで応急手当講習を受講したことがありますか。



		回答者数	2回以上受講したことがある	1回受講したことがある	受講したことはないが、関心はある	受講したこともないし、関心もない	無回答
全体		132	31.8%	34.1%	31.8%	1.5%	0.8%
性別	男性	40	27.5%	45.0%	27.5%	0.0%	0.0%
	女性	92	33.7%	29.3%	33.7%	2.2%	1.1%
年代別	10歳代	3	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	20歳代	11	27.3%	36.4%	36.4%	0.0%	0.0%
	30歳代	32	40.6%	34.4%	21.9%	3.1%	0.0%
	40歳代	30	40.6%	34.4%	21.9%	3.1%	0.0%
	50歳代	20	30.0%	36.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	60歳代	27	25.9%	37.0%	37.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	9	33.3%	22.2%	22.2%	11.1%	11.1%
行政区別	門司区	15	20.0%	26.7%	46.7%	6.7%	0.0%
	小倉北区	25	32.0%	32.0%	32.0%	4.0%	0.0%
	小倉南区	28	35.7%	25.0%	35.7%	0.0%	3.6%
	若松区	13	53.8%	30.8%	15.4%	0.0%	0.0%
	八幡東区	8	25.0%	37.5%	37.5%	0.0%	0.0%
	八幡西区	33	30.3%	42.4%	27.3%	0.0%	0.0%
	戸畑区	10	20.0%	50.0%	30.0%	0.0%	0.0%

応急手当を受講したことがあるかについて、「1回受講したことがある」(34.1%)が最も多く、「2回以上受講したことがある」(31.8%)を合わせると、65.9%の人が過去に受講したことがある結果となった。

問17 応急手当講習を受講したことがある方はどのようにして講習会を知りましたか。(※複数回答有)

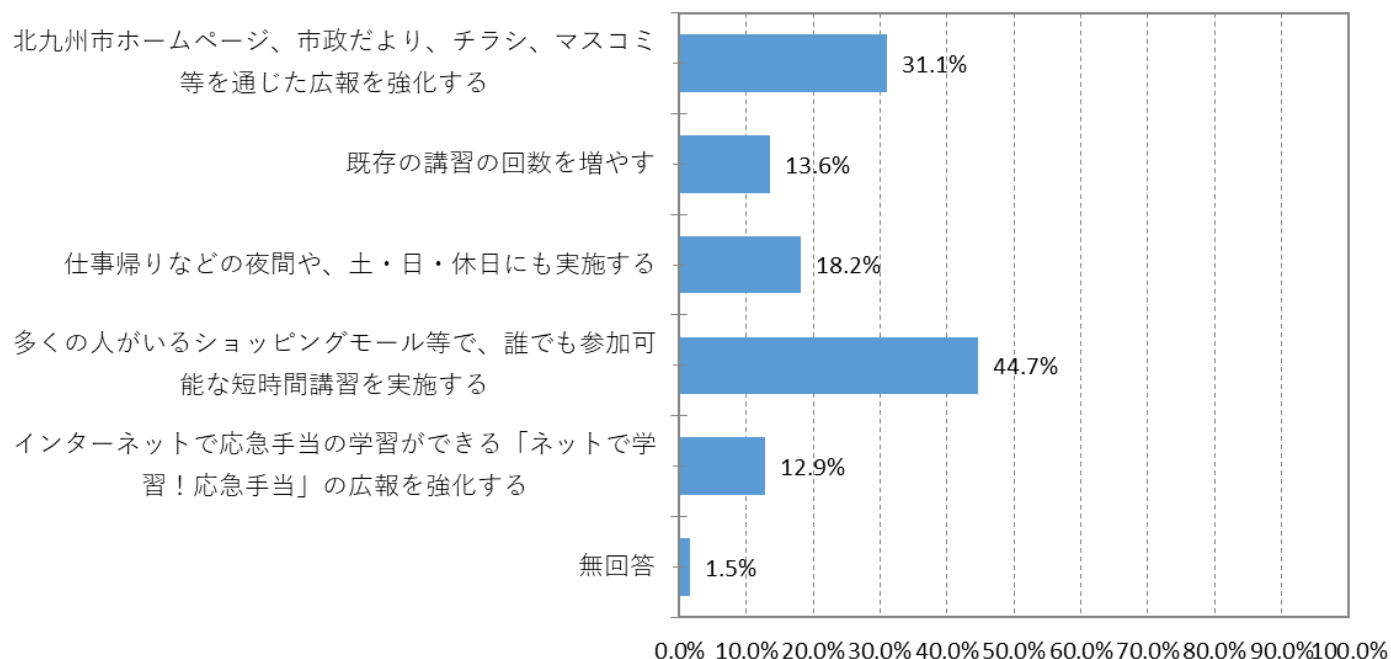


		回 答 者 数	市政だより	北九州市ホーム ページ	家族、知り合いか ら聞いた	自治会を通して 知った	勤務先、学校等で 受講した	その他	無回答
全体		132	9.1%	1.5%	3.8%	4.5%	45.5%	9.1%	31.1%
性 別	男性	40	7.5%	0.0%	2.5%	2.5%	60.0%	10.0%	25.0%
	女性	92	9.8%	2.2%	4.3%	5.4%	39.1%	8.7%	33.7%
年 代 別	10歳代	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%
	20歳代	11	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	63.6%	0.0%	36.4%
	30歳代	32	9.4%	3.1%	0.0%	3.1%	56.3%	15.6%	21.9%
	40歳代	30	9.4%	3.1%	0.0%	3.1%	56.3%	15.6%	21.9%
	50歳代	20	13.3%	0.0%	6.7%	3.3%	40.0%	6.7%	33.3%
	60歳代	27	7.4%	0.0%	3.7%	3.7%	40.7%	14.8%	33.3%
	70歳以上	9	11.1%	11.1%	11.1%	22.2%	22.2%	11.1%	33.3%
行 政 区 別	門司区	15	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	40.0%	0.0%	46.7%
	小倉北区	25	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	52.0%	12.0%	36.0%
	小倉南区	28	14.3%	0.0%	3.6%	0.0%	39.3%	10.7%	35.7%
	若松区	13	15.4%	0.0%	7.7%	7.7%	38.5%	7.7%	15.4%
	八幡東区	8	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	37.5%	12.5%	25.0%
	八幡西区	33	12.1%	3.0%	3.0%	12.1%	51.5%	9.1%	24.2%
	戸畑区	10	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	50.0%	10.0%	30.0%

応急手当講習会の受講者で、講習会を知った手段については、「勤務先、学校等で受講した」(45.5%)が最も多かった。

問18 より多くの方に応急手当講習を受講してもらうためには、どのような方策が有効だと思いますか。

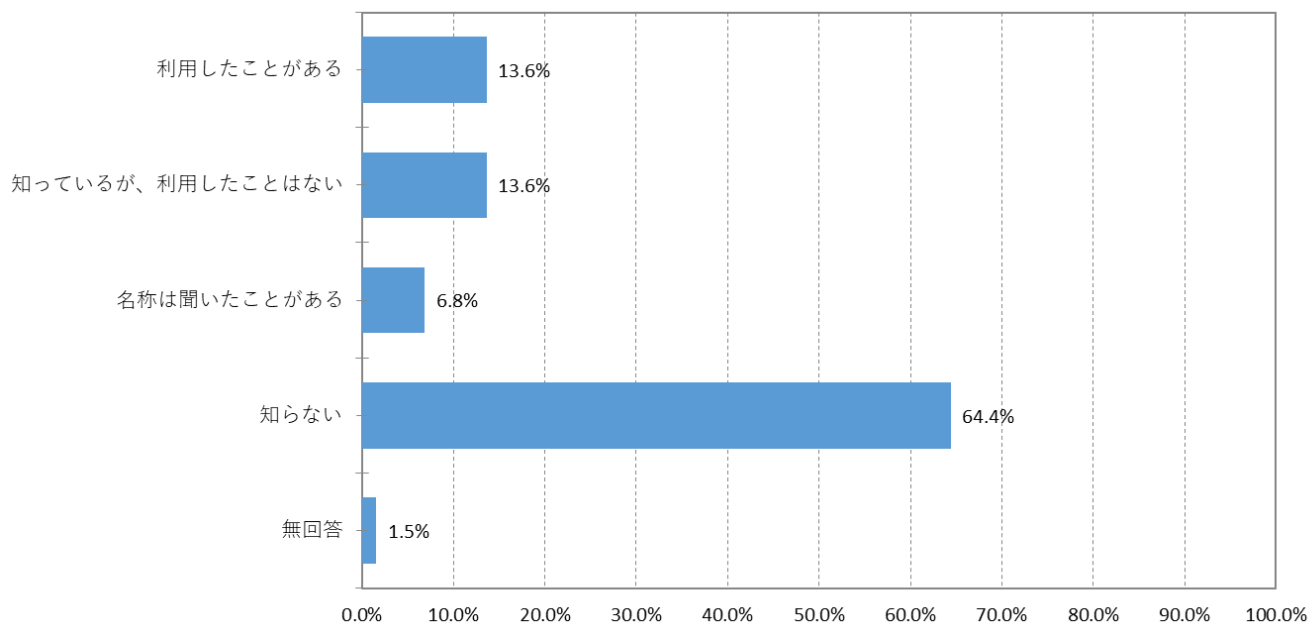
(※複数回答有)



		回答者数	北九州市ホームページ、市政だより、チラシ、マスコミ等を通じた広報を強化する	既存の講習の回数を増やす	仕事帰りなどの夜間や、土・日・休日にも実施する	多くの人がいるショッピングモール等で、誰でも参加可能な短時間講習を実施する	インターネットで応急手当の学習ができる「ネットで学習！応急手当」の広報を強化する	無回答
全体		132	31.1%	13.6%	18.2%	44.7%	12.9%	1.5%
性別	男性	40	32.5%	17.5%	25.0%	35.0%	15.0%	2.5%
	女性	92	30.4%	12.0%	15.2%	48.9%	12.0%	1.1%
年代別	10歳代	3	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
	20歳代	11	9.1%	9.1%	18.2%	54.5%	9.1%	0.0%
	30歳代	32	25.0%	12.5%	9.4%	56.3%	9.4%	3.1%
	40歳代	30	25.0%	12.5%	9.4%	56.3%	9.4%	3.1%
	50歳代	20	30.0%	10.0%	36.7%	40.0%	6.7%	0.0%
	60歳代	27	25.9%	22.2%	14.8%	44.4%	25.9%	0.0%
	70歳以上	9	44.4%	22.2%	11.1%	77.8%	11.1%	11.1%
行政区別	門司区	15	20.0%	6.7%	26.7%	40.0%	20.0%	0.0%
	小倉北区	25	20.0%	20.0%	4.0%	56.0%	16.0%	0.0%
	小倉南区	28	35.7%	0.0%	21.4%	50.0%	3.6%	3.6%
	若松区	13	46.2%	0.0%	15.4%	38.5%	0.0%	0.0%
	八幡東区	8	25.0%	37.5%	25.0%	25.0%	37.5%	0.0%
	八幡西区	33	36.4%	18.2%	24.2%	39.4%	15.2%	3.0%
	戸畑区	10	30.0%	30.0%	10.0%	50.0%	10.0%	0.0%

より多くの方に応急手当講習を受講してもらうための方策については、「多くの人がいるショッピングモール等で、誰でも参加可能な短時間講習を実施する」(44.7%)が最も多かった。

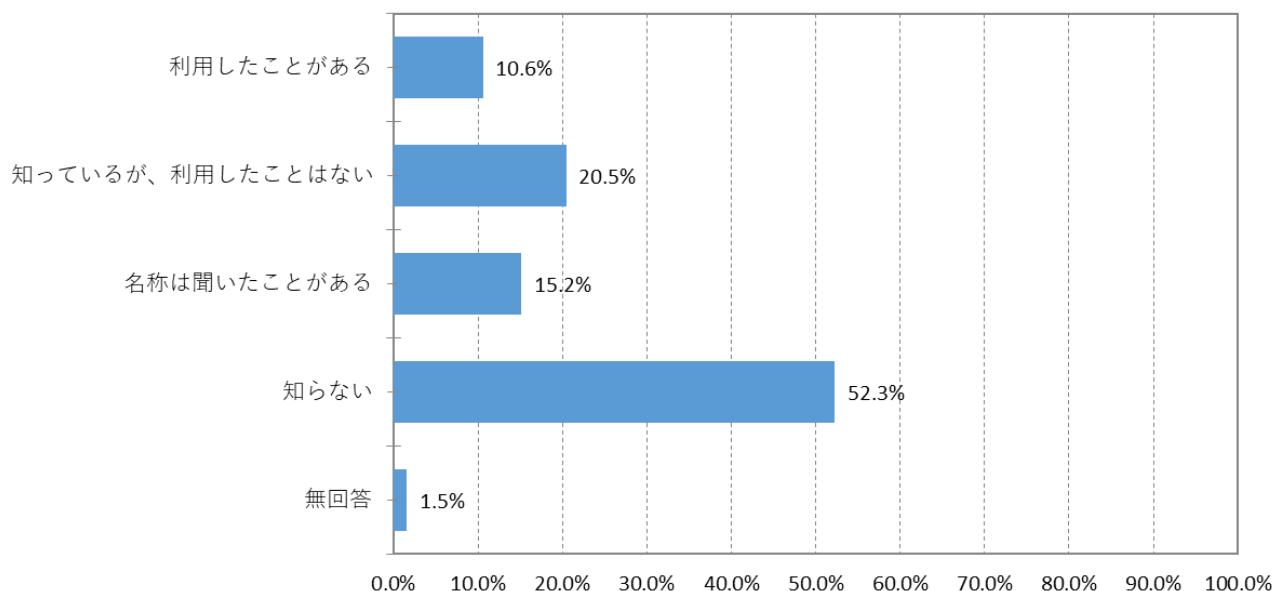
問19 市内の医療機関の紹介を行う「テレフォンセンター（522-9999）」を知っていますか。



		回答者数	利用したことがある	知っているが、利用したことはない	名称は聞いたことがある	知らない	無回答
全体		132	13.6%	13.6%	6.8%	64.4%	1.5%
性別	男性	40	10.0%	10.0%	2.5%	75.0%	2.5%
	女性	92	15.2%	15.2%	8.7%	59.8%	1.1%
年代別	10歳代	3	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	20歳代	11	0.0%	0.0%	18.2%	81.8%	0.0%
	30歳代	32	15.6%	9.4%	3.1%	71.9%	0.0%
	40歳代	30	15.6%	9.4%	3.1%	71.9%	0.0%
	50歳代	20	26.7%	16.7%	0.0%	56.7%	0.0%
	60歳代	27	11.1%	18.5%	14.8%	55.6%	0.0%
	70歳以上	9	0.0%	11.1%	11.1%	55.6%	22.2%
行政区別	門司区	15	20.0%	6.7%	13.3%	60.0%	0.0%
	小倉北区	25	16.0%	8.0%	4.0%	72.0%	0.0%
	小倉南区	28	21.4%	14.3%	3.6%	53.6%	7.1%
	若松区	13	7.7%	23.1%	0.0%	69.2%	0.0%
	八幡東区	8	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%
	八幡西区	33	9.1%	15.2%	9.1%	66.7%	0.0%
	戸畑区	10	10.0%	10.0%	20.0%	60.0%	0.0%

市内の医療機関の紹介を行う「テレフォンセンター（522-9999）」については、「知らない」（64.4%）が最も多かった。

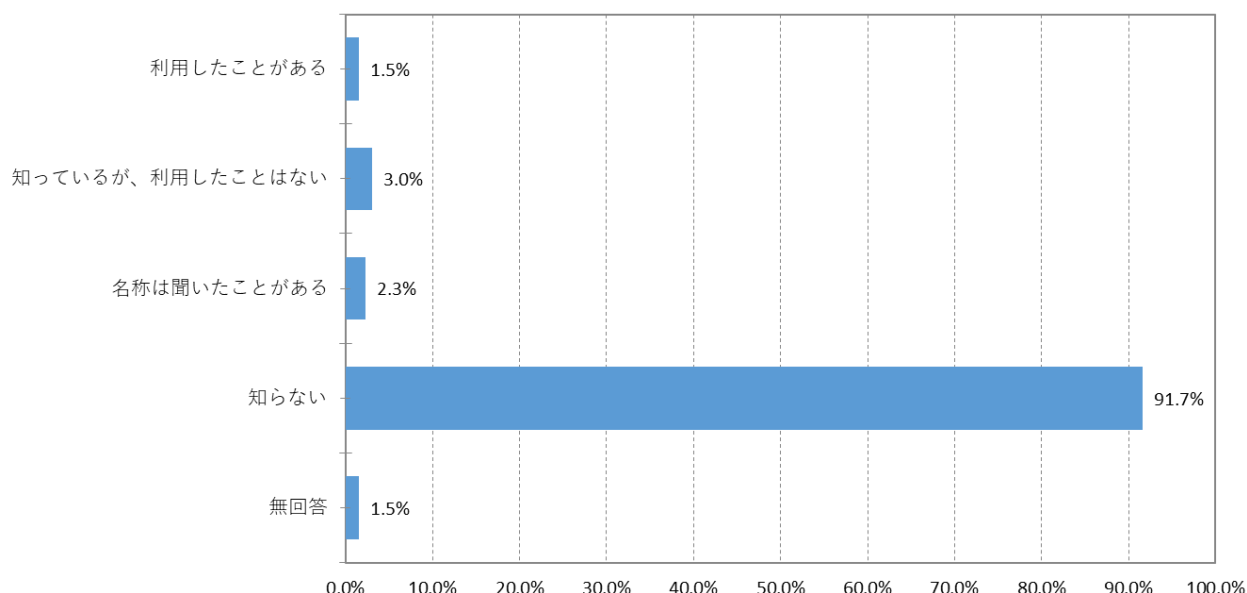
問20 救急車を呼ぶか迷った時の電話相談事業「#7119」を知っていますか。



		回答者数	利用したことがある	知っているが、利用したことはない	名称は聞いたことがある	知らない	無回答
全体		132	10.6%	20.5%	15.2%	52.3%	1.5%
性別	男性	40	2.5%	15.0%	15.0%	65.0%	2.5%
	女性	92	14.1%	22.8%	15.2%	46.7%	1.1%
年代別	10歳代	3	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%
	20歳代	11	18.2%	27.3%	18.2%	36.4%	0.0%
	30歳代	32	18.8%	18.8%	21.9%	40.6%	0.0%
	40歳代	30	18.8%	18.8%	21.9%	40.6%	0.0%
	50歳代	20	10.0%	23.3%	16.7%	46.7%	3.3%
	60歳代	27	3.7%	22.2%	14.8%	59.3%	0.0%
	70歳以上	9	0.0%	11.1%	11.1%	66.7%	11.1%
行政区別	門司区	15	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%
	小倉北区	25	8.0%	32.0%	4.0%	56.0%	0.0%
	小倉南区	28	3.6%	17.9%	14.3%	60.7%	3.6%
	若松区	13	7.7%	23.1%	15.4%	46.2%	7.7%
	八幡東区	8	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%
	八幡西区	33	15.2%	18.2%	18.2%	48.5%	0.0%
	戸畑区	10	20.0%	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%

救急車を呼ぶか迷った時の電話相談事業「#7119」については、「知らない」(52.3%)が最も多かった。

問2 1 病気やケガの緊急度を素早く教えてくれる全国版救急受診アプリ「Q助」を知っていますか。

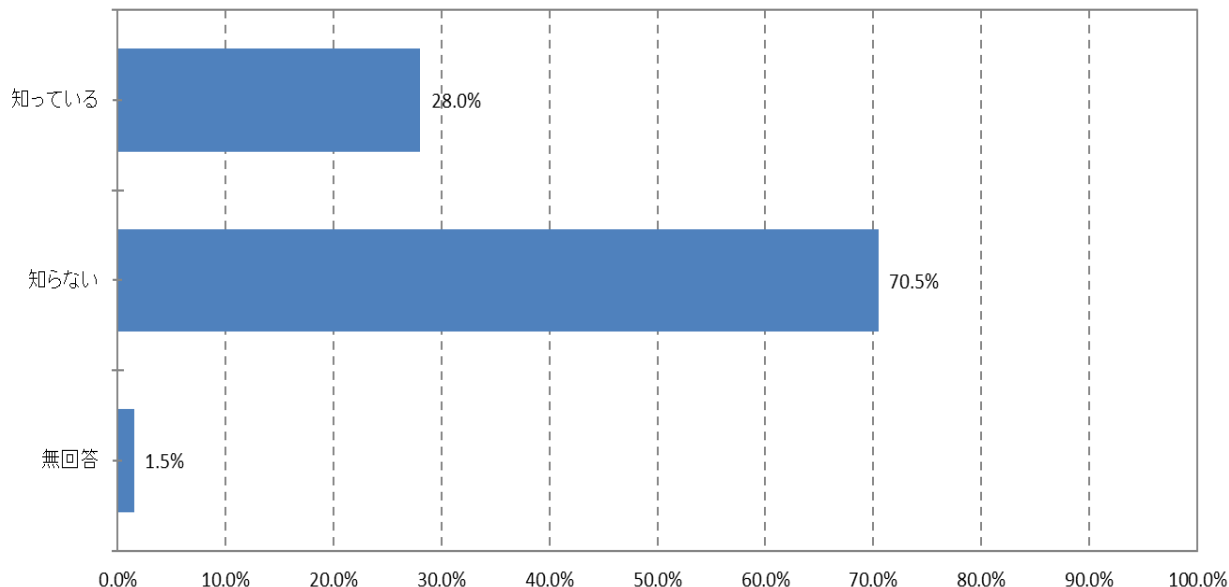


		回答者数	利用したことがある	知っているが、利用したことはない	名称は聞いたことがある	知らない	無回答
全体		132	1.5%	3.0%	2.3%	91.7%	1.5%
性別	男性	40	2.5%	2.5%	2.5%	92.5%	0.0%
	女性	92	1.1%	3.3%	2.2%	91.3%	2.2%
年代別	10歳代	3	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	20歳代	11	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	30歳代	32	3.1%	0.0%	9.4%	87.5%	0.0%
	40歳代	30	3.1%	0.0%	9.4%	87.5%	0.0%
	50歳代	20	0.0%	3.3%	0.0%	96.7%	0.0%
	60歳代	27	0.0%	11.1%	0.0%	88.9%	0.0%
	70歳以上	9	0.0%	0.0%	0.0%	88.9%	11.1%
行政区別	門司区	15	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	小倉北区	25	0.0%	0.0%	4.0%	96.0%	0.0%
	小倉南区	28	3.6%	0.0%	3.6%	89.3%	3.6%
	若松区	13	0.0%	7.7%	0.0%	92.3%	0.0%
	八幡東区	8	0.0%	12.5%	0.0%	87.5%	0.0%
	八幡西区	33	3.0%	6.1%	3.0%	84.8%	3.0%
	戸畑区	10	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

病気やケガの緊急度を素早く教えてくれる全国版救急受診アプリ「Q助」については、「知らない」（91.7%）が最も多く、年代別でもすべての年代で「知らない」が最も多かった。



問22 119番通報時、電話口で対応する職員が、心肺蘇生法や初期消火方法を伝える「口頭指導」を知っていますか。



		回答者数	知っている	知らない	無回答
全体		132	28.0%	70.5%	1.5%
性別	男性	40	17.5%	80.0%	2.5%
	女性	92	32.6%	66.3%	1.1%
年代別	10歳代	3	0.0%	100.0%	0.0%
	20歳代	11	45.5%	54.5%	0.0%
	30歳代	32	40.6%	59.4%	0.0%
	40歳代	30	26.7%	73.3%	0.0%
	50歳代	20	30.0%	65.0%	5.0%
	60歳代	27	14.8%	85.2%	0.0%
	70歳以上	9	11.1%	77.8%	11.1%
行政区別	門司区	15	20.0%	80.0%	0.0%
	小倉北区	25	36.0%	64.0%	0.0%
	小倉南区	28	28.6%	67.9%	3.6%
	若松区	13	30.8%	69.2%	0.0%
	八幡東区	8	25.0%	75.0%	0.0%
	八幡西区	33	27.3%	72.7%	0.0%
	戸畑区	10	20.0%	70.0%	10.0%

119番通報時、電話口で対応する職員が、心肺蘇生法や初期消火方法を伝える「口頭指導」の認知度については、「知らない」（70.5%）が最も多かった。